

30年度以降に限られた時間の中で 住民が関わりながら体制づくりを行った事例

平成30年4月の人事異動でSCとなり、限られた時間の中で焦っていましたが、さわやか福祉財団の鶴山理事に助けていただき、住民が選出した第1層協議体を立ち上げることができました。



“30年度以降に限られた時間の中で、
住民が関わりながら体制づくりを行った事例”



秋田県大館市社会福祉協議会
第1層生活支援コーディネーター 戸澤 真澄



《要旨》

平成30年4月に市から社協へ第1層の事業が委託され、SCは法人内の地域包括支援センターからの人事異動により配置されました。5月から、さわやか福祉財団・鶴山理事にアドバイザーとして関わっていただき、住民向けの勉強会を3回重ね、住民による第1層協議体構成員の選出を行い、平成30年11月に“大館市支え合い推進会議(第1層協議体)”を立ち上げることができました。

1. はじめに

大館市は、秋田犬や忠犬ハチ公、比内地鶏、きりたんぼ、鶏めしなどで有名な、秋田県北部の中核となる都市です。広大な面積を持ち、市域の大部分は山間部ですが、大館盆地を中心に発展してきた歴史あるまちであり、米代川とその支流の流域に添って集落が点在しています。農業も盛んで、自然の豊かな住みやすい環境が自慢です。

人口は、平成31年4月1日現在、71,944人。うち65歳以上は27,588人。高齢化率は38.34%。平成30年度からの介護保険料は、基準月額が6,771円となっています。

2. 生活支援体制整備事業の経過について

大館市では、平成29年4月から体制づくりが始まり、第2層生活支援コーディネーターが6つの生活圏域(地域包括支援センターの区域ごと)に配置されたことにより、協議体の立ち上げに向けた取組みが始まりました。

平成30年度からは、第1層生活支援コーディネーターが市社会福祉協議会に配置され、第1層協議体の立上げに向けた動きが始まりました。そして、平成30年11月21日に第1層協議体が誕生しています。

平成31年度からは、地域包括支援センターの地区が細分化され、7つの生活圏域となり、生活支援コーディネーターも1名増員となりました。第2層の協議体は、各地で続々と立ち上げられています。

3. 第1層協議体立上げまでの過程

①『第1回地域支え合い勉強会in大館』開催 (H30.6.29)

内容: 行政説明、基調講演(さわやか福祉財団鶴山理事)、ワークショップ
“目指す大館市像について”
参加者: 約80名



②『第2回地域支え合い勉強会in大館』開催 (H30.8.8)

内容: 助け合い体験ゲーム、基調講演
(さわやか福祉財団鶴山理事)、
ワークショップ“第1層協議体委員選出”
参加者: 約60名



③『第3回地域支え合い勉強会in大館』と『第1回大館市支え合い推進会議』同時開催 (H30.11.21)

内容: 第1層協議体委員への委嘱状交付、SCの活動報告、基調講演(さわやか福祉財団鶴山理事) 参加者: 約80名

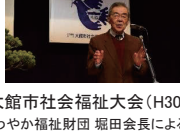


4. その他の取組みについて

●大館市福祉員大会 (H30.7.23)
さわやか福祉財団 丹理事による講演



●新潟『実家の茶の間・紫竹』視察研修会 (H31.2.18)



●小坂町視察研修会 (H31.3.26)



●大館市さわやかサポーター養成研修会 (H31.3.26)



●支え合い推進会議

第2回 (H31.1.17)



第3回 (H31.3.7)



《まとめ》

初めは、社協で選出した委員に委嘱状交付を行って早めに協議体を立ち上げようと考えていましたが、鶴山理事に相談し、勉強会を重ねたことによって、SCや協議体に関する他の、支え合いの効果や面白い取組み事例なども知ることができました。回を重ねるごとに参加してくださった住民のみなさんの意識が変わっていき、市全域にこの事業の理解者が増えたと感じています。当初の計画よりも時間がかかりましたが、住民の意向を尊重して丁寧に進めていくことの重要性と効果を知ることができました。

SCと大館市の担当者



今年度も
ますますパワーアップして
がんばります!!



大館市社会福祉協議会

〒017-0836 秋田県大館市池内字大出135番地(大館市立上川沿公民館内)

TEL : 0186-42-8101 FAX : 0186-42-8104

E-mail : chiiki@oodate-shakyo.or.jp (担当: 生活支援コーディネーター 戸澤)

いきがい・助け合いサミットin大阪 2019

*事業の推進に多大なるご協力をいただきました、さわやか福祉財団のみなさま、本当にありがとうございました! 今後どうぞよろしくお願いいたします。

